

タコ…? クラゲ…? 「タコクラゲ」を展示しています

海遊館(大阪市港区)では、館内「海月銀河」にて、「タコクラゲ」を展示していますのでお知らせします。



タコクラゲ (2022年8月17日撮影)



タコクラゲ (2022年8月17日撮影)

タコクラゲは口腕と付属器(傘の下にある紐のような部分)が8本あるなど、外見がタコに似ていることからその名がついたといわれるクラゲの一種です。日本では、黒潮流域の温かい海で夏から秋にかけて見られます。

微細なプランクトンを捕食するほか、「褐虫藻」という藻類を体の中に共生させていて、それが光合成して作りだした産物を栄養分として使用しています。「褐虫藻」の量によって褐色や青色など、体色の異なる個体があります。

海遊館は季節の生き物であるタコクラゲの展示を通し、生き物や自然環境に興味を持っていただく機会や、季節を感じてもらえる機会を提供したいと考えています。

● タコクラゲ の展示について

展示場所 : 館内「海月銀河」

展示期間 : 2022年8月13日 ~ 9月頃

展示数 : 約20匹

大きさ : およそ1 ~ 2 cm (傘の部分)

※情報は2022年8月24日現在のものです。予告なく内容を変更・中止することがあります。

【 本件に関する広報連絡先 】

タコクラゲの様子を取材いただけるほか、素材の提供が可能です。

海遊館広報チーム 06-6576-5529